

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム 生きがい 2階	評価実施年月日	
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

□ は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<input type="checkbox"/> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	独自の理念があります。		今後も理念を念頭におき、やっていきたいと思います。
<input type="checkbox"/> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	職員が目につける所に、理念を掲示している。又、社内研修で再確認しながら取り組んでいます。		日々の生活の中で、実践しています。
<input type="checkbox"/> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	見やすい所に掲示している。入居の際や面会時、運営推進委員会時に説明しています。		運営推進会議時に、家族や地域の方に、日々の取り組みや生活を伝えていきます。
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	近隣の施設の方々が散歩時に立ち寄られて、庭でお茶を楽しんでくれています。		お互いの行事の際には、参加し合っています。
<input type="checkbox"/> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	地域小学校の行事(運動会・発習発表会)に出かけて行ったり、近隣の施設の夏祭りや、地域の収穫祭に参加しています。又、ホームの夏祭りの時はお知らせし交流をする事に努めています。		近隣の施設の方が、散歩の途中寄ってくれたり、地域の祭りには子供御輿が来てくれます。
<input type="checkbox"/> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	近隣、施設への花植えの際一緒にのっています。		お互いの行事には、参加し合い関係を深めていきたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>自己評価や外部調査報告書に基き、評価を活かせる様、職員全員が取り組んでいます。</p>		改善点があれば、これからの課題として取り組んでいきます。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に1回運営推進委員会を開催し、委員の皆様様に報告し意見を伺っています。</p>		今後も継続して行きますが、委員を引き受け参加する方が増えてくれれば、さらにサービス向上につながると思います。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>特にありません。</p>		機会があればと思っています。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>権利擁護に関し、学ぶ機会を持つ様努力しています。</p>		機会があればと思っています。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>社内研修で常に話し合い理解しているので、身体拘束はしていません。</p>		今後も学ぶ機会を作り、必要な人に活用出来る様にしたいと思います。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約に関しては、ご家族と話しをしており、疑問点などがあればその都度説明し、納得して頂いています。</p>		重要事項説明書に提示しているが、説明を求められる時には、都度対応しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者からの意見等があれば、面会時・運営推進会議時等に話しを聞き、運営に反映させる様努めている。		利用者からの意見があれば、いつでも伺います。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	2ヶ月に1回、個々合わせた金銭近況についての報告書を郵送しています。又、面会時に様子を伝えています。		これからも継続していきます。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族からの意見・不満・苦情があれば、その都度伺い運営に反映させる様努めています。玄関に説明文と共に意見箱を設置しています。		苦情は今の所ないが、何かあればいつでも気軽に話してもらえる様に努めています。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員からの意見や提案は、その都度聞き取りフロア会議の席で話し合った事を反映させて行きたいと思えます。		職員の意見・提案を反映出来る様に努めています。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	毎日の勤務は、早・日・遅番と決められた時間帯で動いているが、前もって予定されている時、緊急時には要望に対応出来る様に努めています。		職員間で調整する様、努めています。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動時には、利用者への影響が最小限になる様に、職員が関わりを多くもつ様にしている。		利用者への関わり方を配慮しながら努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	毎月社内研修を実地している。社外研修にも参加しています。	今後も社内研修・社外研修を、受ける取り組みをしていきます。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	グループホーム協議会には参加している。	勉強になると思いますので、これからも機会があれば参加したいです。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	仕事上の悩みは職員同士で話し合ったり、チーフや主任が相談にのったり話しを聞く等しています。	ストレス軽減の為相談にのったり、仕事の工夫・環境作りに努めます。
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	各職員が能力を発揮出来る様に心掛けています。	仕事面、生活面において、各職員が自分らしく働いて行ける様に努めています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	入居時やホームでの生活の中で、生活歴を聴き取り本人の求める事を、受けていく努力をしています。	いつでも話を聴く様に努めます。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	ご家族の気持ちを良く聴き取り、受け止める努力をしています。	何かあれば、いつでも話してもらえる様に伝えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・家族が必要としている事を、聴き取りの上対応に努める。		本人家族との面談時に、必要としている支援の確認に努めている。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	家族との相談を重ね、何度も見学に来て頂き、納得して入居して頂いている。本人が安心してサービス利用して頂ける様に工夫する。		何度でもホームを見学して頂き、様子を見てもらい安心して生活できる事を納得してもらっている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一緒に生活する仲間として、学び支え合う関係を築いている。		人生の先輩として敬い、教えてもらうという思いで生活しています。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族との面会時の会話を含めて話す機会を多くし、本人を共の支え合う関係を築いている。		お互いに話し合い、家族にも参加してもらう様にしていきたい。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人と家族との関係を把握し、良い関係でいられる様支援している。		面会時に近況と伝える他に、手紙や電話で連絡を取っています。これからも継続していきます。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会・手紙・電話を通し、関係継続に努めている。馴染みの場所には家族の協力の元、支援に努めている。		家族の協力を頂きながら、支援していきます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	孤立しない様に関わっている。職員は、利用者同士が安心した生活を送れる様に仲介している。		利用者同士が良い関係作りが出来る様、支援しています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	入院などによる退所時には、完全な退所が決定するまで、病院・家族と連絡を取り合っている。		今後も継続して行きます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望を聞き、それに添ったサービス提供が出来る様に努めている。		本人の気持ちを第一に考え、支援して行きます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	毎日の生活の中で、又家族から話を聞き取りし把握に努めている。		各職員が聞き取りした内容を、共有し把握して行きます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	生活する上で本人の1日の流れを把握し、声掛け・見守りしながら、心身状態に変化がないか気を配っている。		職員間の情報交換を日々行っており、現状の把握に努めています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	家族・本人の話を聞き取り、又職員の話し合いから介護計画を作成しています。		本人・家族からの聴き取りや、担当者会議での話などから計画を作成しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の見直し時には担当者会議を開催し、モニタリングをして現常に即した計画作成をしています。		日々の情報交換で、本人の状況に変化があった時は、本人・家族と話し合いの上、新たな計画を作成している。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	情報を共有し、日々の様子などを担当職員が、介護記録に記入している。又、担当者会議でもモニタリングを元に、計画作成の見直しに活かせる様になっている。		介護記録に担当職員が、1日の状況を記入している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	その時の要望に応じて支援している。		今後も継続して行きたいです。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員～運営推進委員会への参加、夏祭り時にボランティアをして下さる。ボランティア～指圧・茶道・歌会に来て下さる。消防～年2回、消防訓練・救命救急法の指導等の協力をして下さる。小学校～運動会・学習発表会に招待して下さる。		今後も継続して行きたいです。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域のケアマネジャーやサービス事業者との、付き合いがありません。		今後は相談し、協力を得ながら行っていきます。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターとの協働は、今の所ありません。		今後必要時には、お願いをします。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	地域に協力病院があり、定期受診を受けており、必要な支援を受けている。		定期的に受診しています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力病院があり、受診し治療してもらっています。		定期的に受診しています。受診をして頂いているが、状況変更があった時は専門医の受診を紹介してくれます。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力病院の外科看護師長に相談している。		相談しアドバイスを頂いています。今後も継続して行きたいです。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時は家族・病院と連絡を取り合い、情報交換をしています。退院に向けての相談は受けています。		退院後も協力体制あります。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	協力病院と相談し、本人・家族主治医と話し合い、方針を共有できる様に努めている。		必要に応じ、その方にあつた機関の利用を支援している。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	主治医や家族に相談しながら、支援に努めている。		主治医の治療を受けながら、支援して行く。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住替えによるダメージを防ぐことに努 めている。	なし。(ホームから医療機関に転院のみ)		そういう状況にあった際に考えたいと思います。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる ような言葉かけや対応、記録等の個人情報 の取扱いをしていない。	人生の先輩として、教えて頂くとの態度で接しています。部屋へ入る際は、ノックして 入ります。お話しする事は、はっきりゆっくりした口調で対応しています。		記録は本人が話した事を書く様、すすめています。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている。	自己決定や希望を表す事は難しい時もあるが、職員は本人が安心して暮らせる 様に支援しています。		利用者が自己決定できる様に、職員は支援して行く。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、その 日をどのように過ごしたいか、希望にそつて 支援している。	日常生活をゆったりと利用者のペースで過ごせる様に、心掛けている。		今後も継続して行きます。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができ るように支援し、理容・美容は本人の望む店 に行けるように努めている。	各自がその人らしい服装が出来る様、支援しています。又、理容・美容室は本人の 希望時に利用し、好きな髪型が出来る様に支援しています。		今後も継続して行きます。
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職 員がその人に合わせて、一緒に準備や食 事、片付けをしている。	利用者と職員が同じ食卓に座り、楽しく食べれる様に支援している。又、食卓の準備 や片付けを一緒に行っています。		今後も継続して行きます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ホームではタバコを吸われる人はいないが、喫煙場所はある。お酒は提供していない。飲み物やおやつは出来る限り、好み物を提供している。		本人の嗜好を出来るだけ、考慮している。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	入居者の排泄パターンを把握し、気持ち良く排泄できる様に対応している。		個々の排泄パターンを把握しており、安眠できる様に支援している。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴を楽しんでもらえる様に支援している。曜日・時間はだいたい決まっているのでその中で入って頂いている。		1人で入られたり、職員介助で入られたりと、皆が入浴を楽しめる様に支援している。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	入居者の睡眠パターンを把握し、安眠してもらう様、日常の活動量を確保し、昼寝し過ぎない様に注意している。		個々の睡眠パターンを把握しており、安眠出来る様に支援している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	利用者の希望や状態に合わせ、家事の役割分担や楽しみ事(茶道・歌会・喫茶散歩)に参加してもらっています。		個々の役割り楽しむ事を知り、張り合いのある生活を送れる様に支援している。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自分で金銭金利できる利用者はいないが、希望する利用者に対しては家族に確認してもらいながら、必要に応じて少額(小銭)を所持している。		近くの商店はないが、一緒に買物に行けらと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	近隣への散歩に出掛け花を摘んだり、年2度車に乗りお花見や紅葉を見に行ってきました。		今後も体に無理のかからぬ様支援しながら、戸外に出掛けて行きたいです。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	バスレクリエーションとして、春と秋(お花見・紅葉狩り)2回出掛けています。		利用者と近隣を散歩する。又、ご家族と出掛けられる方もいます。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族や友人宅へ電話をかけたい時は、いつでもかける事が出来ます。手紙を書く様声掛けをしますが、書かれる方はいません。		利用者がかけたい時は、いつでも支援出来る事を伝えてあります。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも面会に来て頂ける様、家族・友人・本人に伝えてあり、職員にも気軽に話して頂ける様の心掛けている。		ご家族・友人が面会時に、よく見えています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	社内研修として3ヶ月に1回、身体拘束委員会を開催しています。拘束は必要ないしていない。		今後も継続します。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中、鍵はかけていません。		玄関は夜から朝にかけ、施錠しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	昼夜共に入居者の所在・様子を把握し、安全に配慮している。その様子は、介護記録に記載しています。		記録を読む、又申し送りで様子を把握し安全確保する。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	本人の持ち物で注意に必要な物(ハサミ・刃物等)は職員が保管しており、使用する時は渡している。		入居前にご家族と話しをし、了解を得ています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	研修で繰り返し学んでいる。職員は入居者の体調等を把握した上で、事故のない様に努めています。		定期的に研修しています。事故の防止に取り組み、知識や向上につなげていきたい。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	年に2回、救急救命の受講を受けているが、応急手当や初期対応は今後も繰り返し学習している。		急変や事故発生時に、すぐに対応出来る様にしていきたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練・自主訓練・夜間避難訓練を行っています。隣接しているホームとの協力は得られています。		敷地内にある2つのホームと協力し、安全に利用者を避難させる体制を得ている。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	利用者の変化等を早めに家族に伝えており、対応策についての話し合いは個々にしています。		変化があれば家族に伝え、相談に努めている。

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	職員は入居者のその日の体調様子を確認し、異変の発見に努める様支援しています。		顔色・話し方・食欲・歩行状態の観察や、血圧測定している。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	社内研修にて勉強している。間違いのない様に努め、服薬支援している		服薬管理を行うと共に、副作用についても服用薬品説明書を読み、認識し安全に提供して行く。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	乳製品を積極的に摂取する様にしている。水分量・食事量の把握をし、体操で体を動かしています。		便秘の利用者は主治医より、下剤が処方されている方もいます。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、声掛けや一部介助にて歯磨きをしている。夕食後は義歯を預かっており、明朝返し、はめてもらっています。		毎食後、職員が見守り・介助にてきれいに、義歯・口腔内を磨いてもらっています。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食時に、食事量・水分量をチェックしています。粥食や刻み食も提供しています。		毎日、食事量・水分量記録しています。心配ある時は、主治医に相談致します。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルがあります。インフルエンザは毎年、予防接種は受けています。ノロウイルス対策としては、次亜塩素酸ナトリウムで拭き掃除をし、手洗い励行しています。		職員、手洗い励行しています。汚物処理は使い捨て手袋使用し、すみやかに片付けています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	まな板は調理後に漂白し、ふきん・スポンジ・たわし等は、毎日漂白しています。食材は鮮度の良い物を揃え、冷蔵庫・冷凍庫にて保管しています。		冷蔵庫掃除と調理器具の洗浄を続けて行きます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関周りには、「フラワーボックス」を並べて置いている。中庭には、花壇と野菜を植えている。ベンチを設置し、誰でも入りやすくなっている。		今後も継続します。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	カレンダーや時計・ポスター・テレビ・CDラジカセ等を置いている。照明器具やカーテンも家庭的な物を使用している。正月飾りやひな人形、風鈴等季節に合わせた装飾も行っている。		今後も継続します。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者が共有空間のソファ等にて、それぞれ自分の居場所を確保し、ゆったりと過ごしている。又、気の合った利用者同士で、おしゃべりを楽しんでいる。		今後も継続します。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には本人の馴染みの家具が配置され、安心して生活出来る様に配慮している。		タンスやベッド等、今まで使っていた馴染みの家具を置き、居心地良く過ごしてもらっています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温度・湿度計を設置し、適度に調整している。又、換気扇を使ったり、1日に何回か窓を開け換気に努めている。		ホーム内の空気調節をし、1日に何度か窓を開け換気しています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ホーム内の床は全面バリアフリーで、安全に歩ける様になっている。廊下・階段・トイレは手摺り設置している。浴室も手摺りと滑り止めを設置しています。		今後も継続していきます。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	トイレは大きな目印を付け、間違わずに行ける様にしている。居室は各自の表札を付け各部屋の戸の色を変える工夫をしている。		今後も継続していきます。
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	中庭や散歩路でゆったりと過ごし、野菜を収穫したり、花が咲くのを眺めて過ごしています。又、同じ敷地内にグループホームもあり、入居されている皆さんと交流を楽しんでいます。		今後も継続していきます。

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない ①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ③
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ④

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">①</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)